

豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 22 年 6 月
第 20 号

豊田市では、日本環境安全事業株式会社が行う豊田 P C B 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境を保全するために、「豊田市 P C B 処理安全監視委員会」を設置し、P C B 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

平成 22 年度第 1 回豊田市 P C B 処理安全監視委員会について

平成 22 年 5 月 13 日午後 2 時から日本環境安全事業株式会社 (JESCO) 豊田事業所において、平成 22 年度第 1 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には委員 14 名、オブザーバーとして愛知県資源循環推進課と豊田市消防本部、環境省産業廃棄物課、J E S C O、収集運搬事業者 3 社が出席しました。

【市からの報告事項】

1 PCB 廃棄物処理施設への立入実施状況

平成 21 年度は、JESCO 豊田事業所へ計 22 回の立入検査を行い、施設の稼働状況等について問題ないことを確認しました。

特に、環境省の焼却実証実験のため、微量の PCB を含む運転廃棄物の搬出の立会いを行ったこと、密閉容器洗浄試験が実施され、その状況確認を行ったことを報告しました。

2 収集運搬事業者への立入実施状況



立入検査の様子

平成 21 年度は、収集運搬事業者に対して計 17 回の立入検査を行い、収集運搬作業に係る安全性の確認及び収集運搬事業者への指導を行いました。

特に、初めて収集運搬を行う業者の PCB 廃棄物積込作業に立会いしたケースでは、搬入訓練時には改善すべき点がありましたが、指導の結果、初回搬入時には改善され、作業マニュアル、国のガイドライン等に沿った適切な作業が実施されていました。

3 環境モニタリング調査結果について

平成 21 年度の環境モニタリング調査結果は、大気質、河川水質、河川底質で過去の調査結果範囲内でした。しかし、土壌質の調査結果が、過去の調査結果の最大値の 3.3 倍だったため、周辺の PCB 廃棄物の保管状況等を調査しましたが、異常はなく、再調査の結果に問題がなかったことから、検体のばらつきと考えていることを報告しました。

4 安全教育実施状況アンケート結果について

平成 21 年度に収集運搬時のトラブル等が 3 件起きたことから、収集運搬事業者に対して運搬作業従事者への教育訓練の実施状況等について、アンケートを行った結果、全 19 社のうち、2 社が教育訓練を行っていないことがわかりました。

2 社のうち 1 社は、最近 PCB 廃棄物運搬事業を行っておらず、今後も予定がないことから、PCB

廃棄物運搬事業から撤退する意思を示したことから、市との協定を解消する手続きを進め、残る 1 社は、教育訓練の社内体制を見直すよう指導中です。

また、17 社が PCB 廃棄物の運搬中にヒヤリとした、又はハットした事例があると回答しました。

【JESCO からの報告事項】

1 PCB 廃棄物の処理状況

JESCO 豊田事業所では操業開始から、トランス類 918 台、コンデンサ類 14,033 台、PCB 量にして 597t を処理しました。

豊田市内分は、6,314 台登録があるうち、昨年度末までに 5,004 台(80%)の受入が完了しています。残されている 1,310 台のうち、漏洩や受入寸法規格外等の理由により現時点で処理が困難な機器が 1,230 台あります。

2 施設からの PCB 廃棄物搬出について

環境省が実施している、微量 PCB を含む廃棄物の処理実証実験に協力するため、試験試料として廃活性炭や防護服などの運転廃棄物を提供しました。

3 PCB 漏洩機器等の処理等について

PCB が漏洩している機器については、適正な処理、運搬方法が確立されていないことから、これまで、漏洩機器は保管事業者が適正に保管を続けざるを得ない状況が続いています。

今後も漏洩品等の適正な運搬及び処理について関係省庁と相談を進めるとともに、技術開発を進めていきます。

【収集運搬事業者からの教育訓練実施状況説明】

前回の安全監視委員会で、委員から、収集運搬事業者の方々の意見をお聞きしたいとの発言があったことから、収集運搬実績等を踏まえ 3 社に代表して出席してもらい、各社から教育訓練の実施状況等を説明していただきました。

【委員からの主な質問と回答】

Q1 環境調査で 8 月に異常値が出て、再分析が 12 月になっている。遅すぎないか？

A1 (豊田市) フォロー調査に時間が掛かったもので

あるが、今後はできるだけ早くしたい。

Q2 操業が安定してきたから定期点検を 3 回から 2 回にするのはどうか？

A2 (JESCO) 点検時期を調整するものであり、各設備の点検頻度は変わっていない。

Q3 アンケート結果の周知はするのか？

A3 (豊田市) 全収集運搬事業者に周知したい。

Q4 県内、県外処理状況はどうなっているか？

A4 (豊田市・JESCO) 次回から提示する。

Q5 微量 PCB は JESCO で処理しないのか？

A5 (環境省) 微量 PCB の処理については、石綿同様、環境大臣認定制度を設けた。他にも様々な対応をしているところ。

(JESCO) JESCO では微量 PCB に含まれる他の化合物がどんな副反応を起こすか分からないので判断できない。

Q6 前回質問した自動保管倉庫の耐震性の確認はどうだったか？

A6 (JESCO) 確認したところ、震度 6 相当でも大丈夫な強度設計であることが分かった。

【委員からの主な意見】

- ・収集運搬時の「ヒヤリ・ハット事例集」を作って各社に開示すると良い。
 - ・事故等の報告がなかった委員会は初めて。これを続けて欲しい。
- 等の意見が出されました。



豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局

豊田市環境部環境保全課

TEL : 0565-34-6628

FAX : 0565-34-6684

e-mail : k_hozen@city.toyota.aichi.jp